

1. 件名：「志賀原子力発電所2号機の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（55）」

2. 日時：令和4年5月11日（水）13時30分～15時05分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、熊谷管理官補佐、海田主任安全審査官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、西来主任技術研究調査官、松末技術参与

北陸電力株式会社：小田常務執行役員 他10名 ※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<<本年4月20日に受取済み>>

- ・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地の地質・地質構造について 敷地内断層の活動性評価（コメント回答）
- ・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地の地質・地質構造について 補足資料
- ・ 志賀原子力発電所2号炉 適合性審査コメントリスト【敷地の地質・地質構造】

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	規制庁のカイダです。それではですね志賀原子力発電所 2 号炉、敷地の地質地質構造について、
0:00:10	敷地内断層の活動性評価について
0:00:15	ヒアリングをしたいと思います。
0:00:17	事業者の方から説明等お願いします。
0:00:23	はい。北陸電力の吉田です。本日はよろしく願いいたします。
0:00:27	まず資料の確認をさせていただきます。資料は 2 点ございます。
0:00:32	A 4 の厚い資料が本資料となります。
0:00:35	薄い方がですね補足資料となります。
0:00:39	この補足資料につきましては、前回提出した内容から、追加及び変更した箇所を抜粋したものをお付けしております。
0:00:47	その他としまして過去からのコメントの一覧表を本日の参考としておつけしております。
0:00:54	3 点ございます。以上。
0:00:58	今回はですね、3 回目のヒアリングとなりますので、今ほど申した通り、前回のヒアリングからの記載内容の変更した点について説明させていただきます。
0:01:09	まず私の方から、目次の前に添付しました概要のページの変更点を説明し、
0:01:15	そのあとを本編内の変更点について説明いたします。時間は全体で 20 分程度を予定してございます。
0:01:22	それでは本冊の 5 ページと 6 ページの方、
0:01:27	ご覧ください。
0:01:31	ここ活動性評価の結果の一覧表となっておりますが、前回のヒアリングで、でのご指摘を踏まえまして、記載の適正化を図ってございます。
0:01:42	適正化を図った内容は 3 点ございます。まず 1 点目です。明確なデータとして、活動性評価の根拠と位置付けました。ここで緑の網掛けのデータ。
0:01:54	このデータ以外の白抜のデータのすべてにつきまして、その位置付けを、上の四角と、
0:02:01	標準にもしっかりと記載しております。
0:02:04	具体的に申しますと、白抜白抜のデータにつきましては、そのすべてが、緑の網かけで示したデータから導きました評価結果と、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:15	整合していると、いうことを確認したということを書いてございます。
0:02:20	2点目です。表中でですね左の方でもある、三角×とか、マルA0B0シートがでございます。
0:02:27	この内容につきまして、明確さに欠けます三角。
0:02:32	とかですね。
0:02:34	マルBとか、こういった評価内容につきましても、評価の欄にですね、
0:02:39	しっかり、その辺の明確性に欠ける理由、結果について記載しております。
0:02:45	次3点目です。表の下に見ていただきまして、マルA0ビバネッチの凡例がでございます。
0:02:52	この辺の関連の書き方につきまして、
0:02:55	適正化を図っております。
0:02:58	これに伴いまして、
0:02:59	6ページですね一番下に福田断層の欄の記載があります。
0:03:04	これにつきましても、前回少し議論になりましたが、わかりやすく記載を適正化、修正してございます。
0:03:12	続きまして7ページ、8ページですが、これはS1とS s力の評価。
0:03:18	をまとめたページですが、ここでは下の箱書きの記載を、
0:03:22	修正してございます。
0:03:24	これもですね、今ほど説明した通り、
0:03:27	その他、白抜きデータの、調査データの評価上の位置付けにつきまして、わかりやすく、
0:03:32	記載、
0:03:34	として修正してございます。
0:03:37	9ページ以降につきましては、基本的に修正はございません。
0:03:41	それでは引き続きまして、本文中における修正箇所につきましてスモリの方からご説明させていただきます。
0:03:50	北陸電力のスモリです。23ページ以降につきまして、前回ヒアリングからの変更点を中心にご説明いたします。
0:03:58	まずは1章ですが、35ページをご覧ください。
0:04:04	35ページ、上の四角の蓋まるめに、敷地内断層と花崗岩状面との関係について記載を追加しておりまして、反射法V S P探査の結果、
0:04:14	敷地内断層の深部延長方向も含め、花崗岩状面に相当する反射面に変位を与える断層は認められません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:22	次に 36 ページをご覧ください。
0:04:27	右下の、
0:04:28	四角の、
0:04:30	その下にポツが三つありますけれどもその二つポツ目の 2 行目に、大深度ボーリングのコア観察及び P S 検層による花崗岩状面標高に関する説明を追加しております、
0:04:42	P S 検層に P S 検層結果による花崗岩状面標高は E L - 1190 メートルであり、
0:04:49	コア観察による花崗岩状面標高 E L - 1181.73 メートルと概ね整合します。
0:04:56	また花崗岩境界付近に分布する破砕部の評価を、補足資料の方に追加してございます。
0:05:02	補足資料の 1.3-2-2 ページをご覧ください。
0:05:08	補足資料 1.3-2 の 2 ページです。
0:05:16	こちらに大深度ボーリングの調査結果を示しております、
0:05:20	歴願と加古側の境界付近に認められる破砕部の評価を記載しております。
0:05:25	この破砕部の主せん断面の傾斜角は約 20 度であり、高角の断層である敷地内断層とは傾斜が大きく異なり、
0:05:33	固結した破砕部の力の切断方向から正断層センスが推定されます。
0:05:38	反射法 V S P 探査の結果、花崗岩状面に相当する反射面に変位を与えるような断層は認められず、この破砕部から浅部に連続するような構造も認められません。
0:05:49	さらにコア観察で認められた花崗岩情念位置は、P S 検層の結果と概ね整合します。
0:05:55	以上のことから、不攪乱定面付近の破砕部は、院長応力に起因した規模の小さな破砕部であり、
0:06:02	コア観察で認められた、祈願と花崗岩の境界位置が花崗岩状面と判断しました。
0:06:09	本資料の方に戻っていただきまして、40 ページをご覧ください。
0:06:18	敷地内を通り福屋断層を横断する A 測線の反射法地震探査結果を追加しております。
0:06:24	42 ページに、測線の深度断面を示しております、
0:06:28	こちらで説明しますと、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:31	地質調査でS1が確認された、左の青矢印の位置において、不明瞭ながら高角で、肥田東方向に傾斜する反射面の不連続が認められ、これをS1と判断しました。
0:06:44	また、オレンジ矢印の福浦断層のリニアメント変動地形の位置において、不明瞭ながら広角で西方向に傾斜する反射面の不連続が認められ、これを福田断層と判断しました。
0:06:56	S1については、近縁地下深部延長して、布田断層と連続するような状況は認められず、
0:07:02	また福村断層については、敷地内へ分岐派生するような構造は認められておりません。
0:07:08	1章については以上になります。
0:07:12	続きましてページが飛びますが、490ページから敷地内断層と活断層との破碎部性状の比較になりまして、
0:07:19	496ページをご覧ください。
0:07:28	今回追加した福村断層のF系1孔で作成した薄片の全体写真でして、
0:07:33	各分隊ごとの観察結果を示しております。
0:07:38	497ページでは、Y面を全体写真に加筆しておりまして、
0:07:42	複数認められるY面の一部に不連続箇所が認められるものの、
0:07:46	不連続箇所が認められない、連続的なY面も観察されております。
0:07:51	次に505ページをご覧ください。
0:07:59	Y面と、イライトスメクタイト混合層との関係を示しておりまして、
0:08:02	明瞭なY面や引きずり等の変形が認められる箇所がわかるように、右の拡大写真に図示しております。
0:08:09	また、Y面の不連続箇所に関する考察を、右下の※2基、追記しております、
0:08:15	F K1項の不連続箇所は、Y面形成後の変質鉱物の生成により不連続になったと考えられるが、
0:08:22	F K1項では、不連続箇所が認められない、連続的なY面が観察されます。
0:08:27	一方、敷地内断層では、いずれのY面も不連続箇所が認められることから、
0:08:32	浦断層と敷地内断層では、明瞭な差、違いがあると判断しております。
0:08:38	今ほどF K1恒例にご説明いたしました、
0:08:41	506ページ以降の大坪川ダム右岸トレンチ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:44	右岸喜多道路が南道路の各露頭で作成した合計4枚の薄片についても、
0:08:50	全体写真や不連続箇所 の考察等を同様に追加して ございます。
0:08:56	機内断層と活断層との破砕部性状の比較は、以上になります。
0:09:01	続きまして530ページからが、上載地層法による活動性評価になります。
0:09:06	561ページをご覧ください。
0:09:14	今回、堰堤左岸トレンチのシルト質砂礫層の性状を確認するため、堰堤左岸トレンチの南方に隣接した位置で追加掘削を実施しており、
0:09:22	その写真とスケッチを示しております。
0:09:26	追加分で確認したシルト質田力層は、明瞭な高位段丘I a面の基盤直上に分布しており、
0:09:33	562ページに近接写真を示しておりますが、
0:09:37	駅 の形状は、赤くから円礫主体で、
0:09:40	計5センチ以下が多く、いずれもクサリ化しております。
0:09:45	563ページをご覧ください。
0:09:49	上の四角の3マル目に、堰堤左岸トレンチの露頭観察結果を整理しております。
0:09:55	堰堤左岸トレンチの堆積物の利益については、
0:09:58	陸側の観察の結果、陸成堆積物との明確な差異が認められませんでした。
0:10:04	また、れき系が小さく、風化が進み、トレンチ壁面からの採取が困難であり、
0:10:09	追加掘削した堰堤左岸トレンチ、追加分においても同様の状況でした。
0:10:14	よって堰堤左岸トレンチ追加分の壁面の写真を用いて、れきをトレースし、
0:10:19	別 の中間系と単系が等しいと仮定して、2次元的にできる形状の計測を行いました。
0:10:27	駅 の形状の定量的な評価結果を564ページの上の四角の蓋丸目に示しております。
0:10:34	抽出された。
0:10:36	歴の見かけのチョウケイと産経の平均値は、
0:10:39	1試料を除き、すべて5センチ未満でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:43	それらを用いた計測の結果、れきの平均真円度は約 0.78 であり、0.77 を上回るものの、他の地点の堆積物と同じ条件で比較できないことから、
0:10:54	堰堤左岸トレンチの堆積物については、改正堆積物として扱わないこととしました。
0:11:01	続きまして 569 ページからが、S1 の上載地層法による活動性評価になります。
0:11:07	575 ページをご覧ください。
0:11:13	今回追加した駐車場南東方トレンチ、西壁面における断層上部の拡大写真でして、
0:11:19	左が過失なし、右が主せん断面等を加筆した写真になります。
0:11:25	右下の拡大写真に加筆している通り、
0:11:28	下線で示す、S1 の主せん断面は、
0:11:31	固結した破碎部を伴いながら、岩盤上面まで達することが確認できます。
0:11:37	また 577 ページは、東壁面の拡大写真でして、
0:11:41	こちら西壁面と同様に、右下の拡大写真に、線で示す、S1 の主せん断面は、
0:11:47	固結した破碎部を伴いながら、岩盤上面まで達することが確認できます。
0:11:53	S1 の上載地層法による評価は以上です。
0:11:57	続きまして、626 ページからが、S2S6 の上載地層法による活動性評価になります。
0:12:04	627 ページをご覧ください。
0:12:11	別に S6 の上載地層法による評価地点でして、
0:12:15	左下の表中の補足 1 や、補足 2 の地形に関する検討に用いたボーリング孔のうち、
0:12:21	有識者会合以降に追加したものを、右の位置図に赤色で示しております。
0:12:27	次に 633 ページをご覧ください。
0:12:33	No. 2 トレンチの層理の傾斜についてで、前回ヒアリングから主に 3 点追加追記しております。
0:12:40	まず 1 点目は、有識者会合以降に追加したデータがわかるようにしております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:44	北面では資料番号 14 から 36、
0:12:48	南面では資料番号 64 から 65 の合計 25 データを、有識者会合以降に追加したことを記載しております。
0:12:56	2 点目は、層理の傾斜と断層からの距離の関係についてです、
0:13:00	上の四角の 3 マル目に、北面と南植野それぞれにおいて、断層からの距離に関係なく、ばらつきが認められると記載しております。
0:13:10	最後に 3 点目は、上の四角の 4 番目です、
0:13:13	層理の傾斜は全体的に南傾斜が卓越しており、
0:13:17	トレンチ周辺の地形は南側に行くに従って低くなることから、この層理の傾斜は旧地形を反映したものであると考えられることを記載しております。
0:13:28	次に 676 ページをご覧ください。
0:13:36	S2S6 及びその周辺の岩盤中のせん断面における鉱物脈法による評価です、
0:13:42	前回ヒアリング以降検討に至った経緯やその評価結果をより丁寧に記載しております。
0:13:49	ご説明いたしますと、まず左上の灰色の網掛けに有識者会合の評価を整理しております、
0:13:55	① S1 の活動性評価では、
0:13:58	S1 の北西部については、旧 A B トレンチ既往スケッチ及び岩盤調査坑で確認された運動方向の情報から、
0:14:05	後期更新世以降に、北東側傾斜の北東側隆起の逆断層活動により変位したと解釈するのが合理的と判断する。
0:14:14	一方、駐車場南東トレンチを含めて、それより南東部については、後期更新世以降の活動はないと判断するとしております。
0:14:22	② S2S6 の活動性評価では、
0:14:25	S2S6 は、後期更新世以降に、左横ずれ成分を持つ、西側隆起の逆断層として活動した可能性がある。
0:14:32	この際、S s 6 の地下延長部の断層が活動し、
0:14:36	中央付近の新第 3 系及び上部更新統に変形をおよぼしたものと判断するとしております。
0:14:43	③、S2S6 地下延長部の断層の活動が S1 及ぼす影響では、
0:14:49	S s 6 の地下延長部の断層が活動し、海側隆起の変形をおよぼした場合に、S2S6、下盤側直近の S1 の北西部で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:58	S1の動きを促進する局所的な応力変化が生じております。
0:15:03	この③に関して有識者が実施した数値計算結果を677ページに参考として示しております。
0:15:11	これら①②③の有識者会合の評価を踏まえると、
0:15:15	有識者は、③の数値計算結果による検討の結果、
0:15:20	②のS2S6地下延長部の断層の活動により、
0:15:24	①のように、S1南東部は変位せず、S1北西部のみにウナミが生じると評価していると考えられることから、
0:15:34	この①は②に対して検討を行いました。
0:15:37	まず②に対する検討では、S2S6の地下延長部の断層が活動し、海側隆起の変形をおよぼした場合、
0:15:44	有識者会合による数値計算結果から推定される変形の範囲内に分布するS2S6、S7、S8のせん断面において、
0:15:53	薄片観察により微小な変位が認められるものと考えられますが、
0:15:57	S2S6の3ヶ所及び上盤側その盤側のS7、S8における鉱物脈法による評価の結果、
0:16:04	最新面を横断するイライトスメクタイト混合層に変位変形は認められません。
0:16:11	次に①に対する検討では、S1北西部の2ヶ所における鉱物脈法による評価の結果、
0:16:18	最新面を横断する、イライトスメクタイト混合層に変位変形は認められないことから、
0:16:23	S1北西部について、後期更新世以降に、北東側結城の逆断層活動による変位は認められません。
0:16:30	以上より、S2S6の地下延長部の断層が活動した場合、S2S6及びその上盤側のS7、S8に微小な変位が認められ、
0:16:40	下盤側直近のS1北西部にも変位が認められるものと考えられますが、
0:16:45	鉱物脈法による評価の結果、そのような変位は認められません。
0:16:49	従ってS2S6の地下延長部の断層が後期更新世以降に活動し、
0:16:54	地表付近に変形をおよぼしたことはないと評価しました。
0:16:58	上載地層法による評価は以上です。
0:17:02	70、750ページ以降が、活動性評価のまとめです。
0:17:08	752ページをご覧ください。
0:17:14	S1の活動性評価のまとめでして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:17	黄緑色の網掛けをした駐車場南東方トレンチでの上載気相法、
0:17:22	16.6-1、16.7 項、
0:17:25	M-12.5 II' 孔での鉱物脈法による評価の結果、
0:17:30	S1 の最新活動は、一々段丘堆積物の堆積及びイライトスメクタイト混合層等の生成以前であり、
0:17:38	S1 に後期更新世以降の活動は認められず、
0:17:41	その他の調査データについても、この評価と整合すると評価しております。
0:17:47	また 753 ページから 755 ページの位置図に、
0:17:51	有識者会合以降に追加した S1 に関するすべてのボーリングやトレンチ、兵頭萩野地点を赤色で図示しております。
0:17:59	756 ページ以降のその他の評価対象断層の活動性評価のまとめでも、評価の考え方や有識者会合以降に追加した調査データの着色等を、S1 と同様に整理しております。
0:18:13	最後に 788 ページをご覧ください。
0:18:19	巻末資料 3、有識者会合の評価を踏まえたデータ拡充でして、
0:18:24	右側の全体平面図に、
0:18:27	有識者会合以降に追加したすべてのボーリングやトレンチ、兵藤萩野地点を赤色で図示しております。
0:18:34	地点数は、ボーリングは 167 本、トレンチが 3 ヶ所、曾田比嘉さん箇所になります。
0:18:40	資料の説明は以上です。
0:18:45	はい。規制庁のカイダです。
0:18:47	説明ありがとうございました。
0:18:49	では今ほどのご説明について、こちらからも確認をさせていただきます。
0:18:58	最初の方から
0:19:05	40 ページをお願いします。本編の 40 ページですね。
0:19:10	で、40 ページ 41 ページ 42 ページっていうのが、前回から追加になった、
0:19:17	反射法の
0:19:18	データ、
0:19:21	だと思います。
0:19:23	で、反射法測線だけっていう点で前回、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:28	星お話いただいていたように追加になってるのは確認できました。
0:19:33	それですねちょっとこれ記載上の
0:19:40	追加ってということでお願いしたいんですけども、
0:19:43	41 ページとか 42 ページには、
0:19:48	S1 とか S2S6 がこれですよっていうのが、
0:19:53	断面の方にあるんですけど、
0:19:56	平面の 40 ページの平面見ると、ちょっとその辺、
0:20:01	S1 とか S2S6 っていうのがなくてですね。
0:20:05	平面と断面の対応がちょっとわかりづらいので、
0:20:10	40 ページの方に、
0:20:12	それらの断層も、追記していただきたいんですが、よろしいですか
0:20:21	はい。北陸電力の原です。平面図の方にも S G T S 入力のとりにあわせて したいと思います。
0:20:27	以上です。
0:20:28	はい、ではよろしく申し上げます。
0:20:31	で、
0:20:32	引き続き 124 ページをお願いします。
0:20:39	124 ページ今回追加になったっていうよりは
0:20:44	現地調査を受けて、追加になった。
0:20:47	箇所かなと思うんですけども、
0:20:50	上の箱書きの黄色いところで書いてあるように最新面との、
0:20:55	関係がわかんなかったんで、
0:21:01	ここはあんまり使えなかったというような位置付けかと思うんですが、
0:21:06	これ結局、何て言うんすかね破碎部がいろいろ後に、
0:21:12	最新面を置いていて、破碎部が動いてないというような、
0:21:16	要は矛盾する。
0:21:19	情報じゃ、活動性がないという評価に、
0:21:23	矛盾しないというデータとしても、
0:21:26	使うか。
0:21:28	特に使うとも書いてないんですけども結局これは
0:21:31	ここに書いてあるようにやったけどもちょっと使えませんでしたって いう、もう位置付けだけで、
0:21:37	矛盾しないデータとか少なくとも、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:41	矛盾しないとかっていう位置付けにももうちょっと使えなかったというご判断でよろしいんですかね。
0:22:02	北陸電力石田です。
0:22:04	江藤。この124ページ以降の内容につきましては、今ほどカイダさんがおっしゃったように、最新面を直接横断して見れているような構図脈というものは確認できませんでしたので、
0:22:17	これを用いての活動性評価という意味では、使えなかったという意味では、おっしゃる通りなんですけれども、
0:22:25	それ以外の今、薄片を用いた鉱物脈法ですとか、そういったものとは矛盾するような結果ではない。少なくともこの破碎部が動いてこの脈が切れているような状況は見えないので、
0:22:37	そういう意味では整合しているというような主張は、
0:22:41	できます。
0:22:47	規制庁のカイダです。
0:22:49	そういった意味でももうこのデータが全く何も使えなかったっていうんじゃなくて少なくともそういった、
0:22:58	位置付けとしてでも、評価の、
0:23:01	一つとして
0:23:03	使えるというぐらいのものであればここにも、ちょっとその辺りを追記しておいた方が、
0:23:09	わかりやすいと思いますけれども、いかがで。
0:23:16	北陸電力の野原です。
0:23:19	衛藤。
0:23:20	はい。
0:23:20	まずこの124ページの黄色の枠の、1マル目が、この調査結果から
0:23:27	言いたい結論の一つとなっております。
0:23:29	この黄色丸の10でいいますと以上より、破碎部中のI S混合相当の鉱物脈に変位変形が認められないことから、
0:23:37	財務の形成は、鉱物脈の生成以前と判断されると。
0:23:41	いうことがこれは最終名は横断してませんが、こういった固結社債部ですとか
0:23:47	終戦断面以外のその破碎部中の脈が変形してないと。
0:23:51	こういったことから、
0:23:53	こういった破碎部の形成は鉱物脈の生成以前、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:56	なつたと、これ結論の一つであります。
0:23:59	例えば個別断層のところいきますと、
0:24:02	例えば、764 ページ。
0:24:04	等見ていただきますと、
0:24:07	これ、K2 の活動性評価のまとめのページになりますが、
0:24:16	ここの、
0:24:18	真ん中に鉱物における鉱物脈法による評価という、黄色で枠囲っておりますが一番上、
0:24:25	形になると、スモールA地点というところがございます。
0:24:29	この中に、一つ目として、
0:24:32	最新ゾーンは固結した破碎部からなり、周辺の国際部と類似した性状を有し、
0:24:38	Y面が認められないことから告示破碎部形成以降の活動はないと。
0:24:42	こういったこの時点での評価をしております。
0:24:45	この評価自体が、この※1 としまして、
0:24:48	この※1 といいますのは今ほどの 124 ページの、
0:24:52	5.2. 1 の (2) の、こちらの記載。
0:24:55	こちらの評価結果と整合すると。
0:24:58	こういったような点で、
0:25:01	整合するという、
0:25:03	ずれたというふうに我々評価しております。
0:25:05	こういったことがもう少しわかりやすいように、124 ページ。
0:25:09	ですとかにそういった記載を追記していきたいというふうに考えております。
0:25:14	以上です。
0:25:16	はい。はい規制庁のカイダです。最後の方に、今見たら、確かに何か、
0:25:22	ありますね。ただちょっと、
0:25:26	大分、
0:25:27	離れてるし、ちょっとこの、
0:25:29	個別のことはちょっとわからないので、
0:25:32	先ほどおっしゃったように 124 にも何か一文あった方が、
0:25:37	わかりやすいと思います。
0:25:39	その点はよろしくお願ひし
0:25:43	引き続きなんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:50	と、
0:25:52	400、
0:25:54	計算の薄片なんですけど 440。
0:26:00	8 ページ
0:26:01	449 でもいいんですが、4、
0:26:05	440
0:26:09	はい。
0:26:11	で、これ、計算で
0:26:16	これははっきりとした
0:26:19	最新面というのがなかなかないんで全体を、
0:26:23	見て、それで、
0:26:25	ます。全体を見ても
0:26:29	脈が
0:26:30	埋めてるみたいな説明としてこう全体が示してある。
0:26:34	ものかなと思ってます。
0:26:37	この
0:26:39	薄片というか計算についてですね。
0:26:44	現地調査のときに、多分うちの方から、
0:26:51	全体がこういうふうに網目状になっているという説明を受けて、
0:26:56	そんな時に
0:26:57	雑魚これが、後で
0:27:01	中のがん編が、
0:27:03	回転したりしてないかっていうようなところも、
0:27:07	ちょっと確認して、
0:27:10	わかるようなところがあれば、示してくれっていうような、
0:27:14	発言もあったかなと思ってますんで、
0:27:18	それにあたってはがん編の中に
0:27:23	何て言いますか、脈というか、
0:27:25	隙間にこう鉱物脈みたいなやつがあってそれが、
0:27:28	外側まで続いて行って、
0:27:31	それが
0:27:33	要は歴史履歴からマトリックスまで続くような、
0:27:39	なんか脈みたいのがあれば回転してないっていうような、
0:27:42	説明にも

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:44	使えるかもしれないけれどもそういったものはないかというちょっと確認を、
0:27:48	したような、
0:27:50	かと思えますけれども、
0:27:52	そういったのはちょっとここに今見ると、
0:27:55	そういったところに特化したような記載もないんですけども、
0:27:59	何かどっかある、あるんかなっていうのをちょっと確認したいんですけども。
0:28:06	はい、北陸電力スモリです。
0:28:08	例えばですね、449 ページを見ていただいて、これを例にご説明いたしますと、
0:28:15	これスケッチとしてこの青色、水色で、編集部として書かせていただいたところは、
0:28:20	比較的、
0:28:23	はっきりとその逆の形として見えるようなところをトレースしたのになります。
0:28:27	本当に細かいところ見ると本、
0:28:29	さらにいたるところにあるんですけどもあまり書きすぎるとその煩雑になって、
0:28:33	市長がよくわからないので、比較的目指すところをこういうふうに書かせていただいているという、
0:28:38	スケッチになります。
0:28:39	今カイダさんおっしゃられました、がん編の中にそういうところがあるのかなのかというところで言いますと、
0:28:44	ここには載ってこないけれども非常に細かい変質部として、外の、今水色と繋がるようなものはございます。
0:28:51	そういったところは、例えばで言いますと、
0:28:56	スケッチの、
0:29:02	ちょっと今画面共有してお示しさせていただいてもよろしいでしょうか。
0:29:06	はい、じゃあお願いいたします。
0:29:09	はい。佐瀬少々お待ちください。
0:29:25	スケッチの拡大できる。
0:29:44	いや、今で言えば、さっきの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:47	スケッチと黒須両方として欲しい。
0:29:50	それでいい。
0:29:58	すいませんお待たせいたしました。
0:30:13	例えばですけども、
0:30:15	今、画面共有見えておりますでしょうか。
0:30:18	はい。見えてます。
0:30:20	はい。
0:30:21	例えばですね。
0:30:22	こういうところの、今、ポインターでちょっと指しているこういうところですか、
0:30:27	こういったところ、
0:30:30	またこういうところの中に入ってますけれども、そういったところでの辺の、
0:30:34	規制庁のカイダ、
0:30:36	ポインターがちょっと見えづらかったんですけど、どこら辺かって、もうちょっと、
0:30:43	ゆっくり動かします。
0:30:47	今ポインターが置いてある辺りですとか、
0:30:50	ちょっと場所を動かします。
0:30:57	例えば今ポインターを指しているあたりですとか、決めました。
0:31:02	こういったところがですねスケッチとしては今、
0:31:06	書いてはいないんですけども、
0:31:09	こういう細かい構造としてこの観点の中に幾つか脈状に入っているというようなところは、今、
0:31:14	例としてお示ししましたが幾つもございまして、
0:31:18	先ほどカイダさんおっしゃられた
0:31:20	中に入ってそれ以降回転と動いてないというところは、こういったところからも確認できるというふうに考えてございます。
0:31:27	以上です。
0:31:30	はい。規制庁のカイダです。
0:31:32	それではですね全部じゃなくてもいいんですけども何か主立ったところは、
0:31:37	今みたいな趣旨の
0:31:39	説明を書き加えておいていただいて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:43	がん編ができて 100、この
0:31:46	脈ができた後に、
0:31:49	最新面として動いてないのはわかったけれども、
0:31:52	この
0:31:53	破砕部全体が、
0:31:55	動くようなものもなかったんだというのを示すために、ちょっと先ほどのようなことを説明で入れておいていただきたいんですが、
0:32:04	よろしいですか
0:32:08	グループ電力スモリです。はい承知いたしました。具体的にはこのスケッチのある部分を拡大して、そこでこの部分をそういうふうに見ているのがわかるような、幾つか
0:32:19	例として示してわかるように、注釈なり記載なりを加えさせていただこうと思います。以上です。
0:32:27	はい。規制庁、カイダです。わかりましたじゃ、その点よろしくお願ひします。
0:32:32	あと引き続き、480 ページをお願いします。新しく、
0:32:39	現地調査以降に新しくつくった薄片。
0:32:47	で 480 ページなんですけれども、
0:32:50	ちょっとこれの
0:32:57	状況っていうのをちょっともう少し、
0:32:59	確認したいんですけれども。
0:33:04	最新面っていうのが、上から下に緑と青の境界を来ていて、
0:33:11	今その間を、
0:33:14	鉋物脈が横断してるから、
0:33:18	まあ、活動性なしっていう、
0:33:20	判断だというふうに書いてあるんですが、
0:33:25	とオーダーしてる脈を、
0:33:27	さらに真ん中の辺りで
0:33:31	突っ切って飛び飛びではあるんですけれども、
0:33:34	月って言うような
0:33:35	最初なんて、
0:33:37	この赤い
0:33:38	線が最新面というのがありますね。
0:33:41	これ

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:42	これ見るとその脈ができた後にまた、
0:33:46	こういった最新面がこの脈を飛び飛びではあるものの、横断してるように見えるんですけども、
0:33:54	この辺りってというのは、どういう状況なのかっていうのをもう少し、
0:33:58	教えていただけますか。
0:34:02	はい、北陸電力スモリです。
0:34:05	まずこの派遣についてはですねちょっと今カイダさん、現状最後に追加したというふうにおっしゃいましたがこれ現地調査で実は見たい、見ていただいている発言になりまして、当時から記載を変えていないものにはなります。
0:34:17	今おっしゃられたところ例えば 481 ページの拡大写真が見やすいかなと思うんですけども、
0:34:25	ここで言いますと、
0:34:30	失礼しましたすみません 480 ページの、
0:34:36	こちらすみません画面共有してご説明させていただいてもよろしいでしょうか。
0:34:40	はいどうぞ。
0:34:56	はいそれではご説明いたします。今カイダさんおっしゃられたのは、この最新面があっ。
0:35:01	あって、その間に、例えばこういう
0:35:04	赤点線引いてるけども、こういうところが、要はそのあとの動きの可能性はないのかとそういうようなご指摘かなと。
0:35:11	思うんですけども、この部分拡大したのは、下のオープンのクラスになりまして、
0:35:16	オープンで言いますとここ、今ポインターがあるところになりますが、こちら少し空気として開いてるような部分になります。
0:35:25	こちらですけども、
0:35:27	最新面、この I S ができて以降に動いたとは解釈しておりませんで、
0:35:32	この部分少しは、
0:35:35	発言もちろんその刷っていく中で乾燥収縮で場所を開いくってことは、現象としてはあります。で、
0:35:42	ここはそういうものによる空隙、
0:35:46	の可能性が高いと思っております、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:48	そこを最新面に対して直線的に続く場所にあるので、最終面として今回、
0:35:55	点線置いておるんですけども、イライトスメクタイト今後生成以降に動いたという解釈ではなく、作成の中で、少し開いてしまった空隙、
0:36:03	がこの位置にあるのではないかと考えております。でそのが、この
0:36:08	その間ですね、今引いてるところとの間がしっかりと、
0:36:11	横断するような形でイライトスメクタイト混合層が、
0:36:14	密に分布しているという様子ははっきりと確認できますので、
0:36:18	こういったところからも、少なくともそれ以降の動きはないというふうに評価してございます。
0:36:22	以上です。
0:36:27	はい。カイダです。
0:36:29	わかりましたんで、
0:36:32	空隙は、
0:36:35	最新面とはまた多分、
0:36:38	別というか
0:36:41	空隙と、せん断面っていうのは、また別と思いますので、
0:36:47	空隙と判断してるんだったら最新面っていうふうに表示すると。
0:36:52	これだと
0:36:54	何て言いますかね、青い
0:36:57	脈を、また後で横断してるようにも見えるので、
0:37:02	ちょっと、
0:37:03	記載がもし違ってるとすれば、
0:37:06	何か、
0:37:07	訂正した方がいいと思うんですけど。
0:37:10	どうですかね。
0:37:13	はい、北陸電力スモリです。
0:37:16	こういった今おっしゃった通りだと思ってましてこちら
0:37:20	イライトスメクタイト混合生成以降に動いたいわゆるせん断面というふうには、やはり解釈しておりませんので今岡田さんおっしゃられたように修正させていただこうと。
0:37:28	思います。ここ書いていました趣旨としましては他のところでも、粘土鉱物の配列があってそこから連続するように開いている場合、やはりそこにある可能性があるという解釈で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:38	ご指摘についてはあれですけども、最終面の可能性があるということで聞いている場所もありまして、ここもその延長という形で引いておったんですけども、やはりここは粘土鉱物の配列と繋がるようなものではもちろんありませんので、
0:37:50	やはりくぎかなというふうに解釈してございますので、そのように修正、適正化させていただこうと思います。以上です。
0:38:00	はい。カイダです。わかりましたじゃ記載の方、適正化をお願いします。
0:38:07	引き続き
0:38:12	519 ページ、福良断層との比較っていうところの、
0:38:18	説明の、
0:38:21	これ大坪がダム右岸喜多道路の薄片。
0:38:27	の全体写真
0:38:28	ところで、
0:38:30	福浦と、
0:38:32	稲井断層の違いっていうところの説明を、
0:38:36	されてるところなんです、
0:38:38	ちょっとまず事実関係として、
0:38:42	ここの下の箱書きに、
0:38:44	Y面の一部に不連続箇所がもっと認められるけど、
0:38:48	認められ、不連続が認められない連続的なY面も観察されると。
0:38:54	あって、
0:38:55	うん。
0:38:56	それはこの写真でいう、
0:38:58	ちょっとどれなのかがわかんなくてですね、どれも全部途中で途切れる。
0:39:03	ように見えるんですけど、どれが途切れてないっていう。
0:39:07	連続的なというのを今説明されてるのか。
0:39:11	よろしい。
0:39:12	説明、よろしいです
0:39:16	はい。北陸電力スモリです。こちら画面共有してご説明させていただきます。
0:39:23	まずですねこのY面と中途切れているところが幾つもございます、ここはじゃあ全部、例えば変質鉱物に不連続なのかというと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:31	そういうわけではございませんで、
0:39:33	オープンのが少しわかりやすいんですけども、
0:39:37	例えば、
0:39:38	今、ポイントを示しておるいるところを見ていただきますと、
0:39:42	収縮によって開いていると。
0:39:45	この部分というのは、ものがあって、面があったのかどうかというところが、少なくとも今の発言でわからないというところで、勝手に行くこともできませんので、途切れさせていると、こういった、
0:39:56	ところが、派遣の中での途切れている場所がほとんどになります。
0:40:00	そういった意味で連続的というふうに考えているのが、今このポインターで、
0:40:04	少しずつ、上から下に動かしますけれども、例えばこういった面、
0:40:12	は、不連続箇所がなく連続的であると考えております。
0:40:16	というのも今のようにこういう開いたところは部分的にありますけれども、
0:40:20	いわゆる変質によって不連続にされていると、そういう要素は、全く見えておりませんで、上から下まで、
0:40:26	連続的に繋がるとそういう解釈をして、こういったものを、
0:40:31	連続的なY面というふうに評価しております。
0:40:34	以上です。
0:40:39	はい。規制庁のカイダです。
0:40:42	わかりました。
0:40:45	不連続になって、もともとは連続してたんだけど、
0:40:50	作成の過程で隙間が行ったやつは、
0:40:54	不連続になってるという、そういう意味での、
0:40:58	連続的になっていう。
0:41:01	ことだっていうふうに、
0:41:03	ちょっと理解しまし
0:41:06	で、
0:41:08	そういう意味。
0:41:09	でいくと、例えばですね。
0:41:15	203 ページとか、これ、S1 敷地内の
0:41:19	断層なんですけど、
0:41:24	203 ページ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:32	結構来こういうやつも、
0:41:35	大体連続性が高くてで、
0:41:39	これは敷地内断層なんで、
0:41:42	途切れて、
0:41:46	基地内の断層なんですけども、
0:41:49	あと他にも、
0:41:55	233 ページのほか、
0:41:59	365 ページ
0:42:02	っていうのも、
0:42:05	これは
0:42:06	最新面 1 っていう方が、
0:42:10	間宮区で横断してるんですけど、
0:42:13	2 の方とかですね。
0:42:17	何個。
0:42:18	こいつらとの違いっていうのは何か。
0:42:21	どういうふうに今評価されてる。
0:42:27	はい、北陸電力スモリです。
0:42:29	まず大きな違いとしまして、福田断層の先ほどの 519 ページ等でご説明 しますと、
0:42:37	すいません、520、
0:42:40	521 ページにその旨の記載をしておるんですけども、521 ページの左 下のところに米印打っております。
0:42:48	ここにその考え方を記載しております、
0:42:51	福浦断層の場合ですと、複数認められる場合面、部分的には不連続なも のございますが、こういう連続的なものも、が認められますと。
0:43:01	ただ敷地内断層では、
0:43:03	ファインワインが日本なり複数あったとしても、すべてですね、すべて の Y 面がイライトスメクタイト混合層なり、碎屑岩力といった、
0:43:12	少なくとも後期更新世よりも前にできた、12 か 13 万よりも前にでき た。
0:43:18	鉋物、
0:43:19	頭が横断していると、明確に不連続にしている。
0:43:23	いう要素が組んできております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:25	そういったところがやはり大きく違ひまして、先ほどカイダさんおっしゃられた、200、
0:43:31	3、500、3、
0:43:36	203 ページの再生、
0:43:39	学園で言いますと、
0:43:40	碎屑岩脈がこの面を明確に横断してる箇所は、ミラー認められると。
0:43:47	もう1回大江須永の派遣にしましても、
0:43:49	他のところは、そこを開いているなり、
0:43:53	直線的に見えるところは確かにあるんですけども、間違いなく、横断していると、変質鉱物によって横断不連続になっているというところが、
0:44:02	1ヶ所以上必ず認められておりますので、
0:44:05	そういったものが、
0:44:07	内連続的なY面というのは、敷地内断層では、今お示ししてる中ではないというふうに、な点が福田断層と大きな違いというところで、
0:44:17	強化しております。
0:44:19	以上です。
0:44:24	はい、わかりました。
0:44:29	連続するY面と、
0:44:32	間途中で途切れるっていうのはそういう意味で、
0:44:36	説明されてると。
0:44:38	またちょっとそこら辺は資料、
0:44:41	また確認させていただきたいと思います。
0:44:46	それでは福浦関係でもう1点確認したいんですけども、
0:44:52	例えば520ページ。
0:44:56	の、
0:44:58	大坪川ダム坂北道路っていう、
0:45:03	やつですね。
0:45:04	この、
0:45:07	左下、左側の写真の上でも下でも、下の方がわかりやすいと思うんですけども、
0:45:16	520ページの左側の下で、
0:45:20	真ん中に最新面が縦にバーッと取っ
0:45:23	通っていて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:25	そこで隙間がずっと最新面に沿って、
0:45:30	開いてて、広くぱくっと言われてます。
0:45:33	もともとは、ここはくっついてたのだとして、
0:45:40	の最新面よりも、
0:45:42	右側ですよ。茶色の中に、結構キラキラ光
0:45:48	薄い黄色というか、金色というか、
0:45:51	同じような粘土鉱物、
0:45:53	みたいなのが、
0:45:56	要はその最新面の左側と同じものが右側にも
0:46:01	張り出して、ちょっと
0:46:03	ぼこっと、
0:46:05	入り込んでるのが、何ヶ所かあるように見えるんですね。
0:46:10	例えば本当ちょうど真ん中よりも、
0:46:14	肥後右下とか、
0:46:17	さらに五味したとか、そのもうちょっとしたと
0:46:21	或いは、この
0:46:22	この写真の上から、
0:46:24	1センチぐらいのところとか、
0:46:28	すごいちっちゃいんですけど、
0:46:32	スケールこれ1ミリで、
0:46:35	それと似たようなものが、
0:46:41	ちょっとこれも確認なんですけど、
0:46:45	例えば200、
0:46:48	72ページ
0:46:50	か。
0:46:57	これはS2S6で、
0:47:01	脈が横断してますよっていうご説明で、
0:47:05	この一番、
0:47:07	真ん中の下でも、一番右側のスケッチでもいいんですけども、
0:47:13	スケールでいうとこれも、下にありますが、0.1ミリってさっきの、
0:47:18	10分の1以下ぐらいの大きさなんで、
0:47:22	ちょうどさっき520、
0:47:25	何ページだったかな、ちょっと
0:47:27	最新面の反対側にも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:29	張り出して、瘤みたいに張り出しているのがあると。
0:47:33	申し上げたのと、同じぐらいのサイズのようにも、
0:47:37	見えるんですが、
0:47:39	これは
0:47:41	何か違いがあるんですか
0:47:44	例えばその福浦の先ほどの 500、
0:47:48	何ページだったかっていうところは拡大してみて、
0:47:51	やっぱりそれは、
0:47:53	今ここで 272 ページとか、
0:47:56	に示してあるのとは、
0:47:59	違うんだってというのは、確認とはされてます。
0:48:05	はい、北陸電力スモリです。
0:48:07	500、272 ページのこれ敷地内の S2S6 ですけれども、
0:48:12	こういったものを見てもみますと、最新面がその横の、
0:48:15	今、ぼ
0:48:18	護岸を家
0:48:21	不潔破碎部と密着するような形で、年がずっと終えております。そこを横断するような形でこの逆が確認できると。
0:48:29	というのが 272 ページになります。これがスケールでいうと 0.1mm というスケール書いてますけれども、
0:48:35	これ 520 ページにいきますと、
0:48:37	こちら左下の資料は 1mm スケールですけれどももちろん確認、拡大して確認もしてございます。
0:48:43	こちらの場合は大きく違うのは、
0:48:47	要は横断するような形で脈状に最新面を分布する横断するような形の、
0:48:52	形状は見えないと。
0:48:54	この部分拡大してみましても、やはりその最新面がすぐ横にシャープに通っております、
0:48:59	確かにその向こう側に粘土高粘土鉱物は分布はしているんですけれども、最新面を横断し最新面では面を横断しているかという、
0:49:08	そういう状況にはなっておりませんで、
0:49:12	本当に微妙な、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:17	それこそ切った時に少し薄片作成時に、横に出たのかわからないんですけども、まず最新面を横断するような分布をしていないということを確認しております。
0:49:28	ですので、要はこの最新面面の活動の後にじゃできたかというふうに言われると、
0:49:33	いやそうではないだろうと、こういうふうにシャープに目が見えておるといところも含めまして、
0:49:39	先ほどのS2S6の派遣とは、
0:49:41	明らかにその
0:49:44	この面の、
0:49:45	活動のによって、切られたと。
0:49:48	切られているんだらうというふうの評価するのが、
0:49:52	妥当であるというふうに観察はしております。
0:49:57	以上です。
0:49:58	はい。規制庁の甲斐です。わかりましたじゃちょっとですね520ページの
0:50:04	上のところのちょっと、
0:50:07	へばりついてるやつのところとか、
0:50:10	ここをさっきの、
0:50:13	衛藤。
0:50:14	0.1mmのと同じようなところぐらいに、
0:50:18	大きくしてですね、これはやっぱ、
0:50:20	似たように見えるけど違うっていうことであれば、
0:50:24	この辺りの拡大した状況も示していただいて、
0:50:29	つけていただきたいんですが、
0:50:31	いよよろしいですか。
0:50:35	9電力スモリです。はい承知いたしました。
0:50:40	はい、わかりました。よろしくお願ひします。その辺りの説明も追加でお願いいたします。
0:50:46	で、引き続いて今度上載地層で630
0:50:52	3ページ
0:50:58	で、633ページ、これ、今回、
0:51:03	新しく追加した資料。
0:51:06	の場所とか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:08	がわかるように追加されたということで、
0:51:11	そのシュミットネットが635 ページに、
0:51:15	示してあると。
0:51:17	ということなんですけどもまずちょっとまずはその体裁的な話で、
0:51:22	635 で多分地層ごとにこれ色分けしてあるんですけど、
0:51:27	633 ページは全部おんなじ色なんで、
0:51:32	色を合わせていただく。
0:51:34	いて、635 の色。
0:51:37	D633 のこの地層、
0:51:41	のところのポツポツって書いてあるのも、
0:51:44	あわせて1、
0:51:45	いただいた方がわかりやすいのでそこ色分け等をでき、していただきたいんですが、いいですか。
0:51:53	はい。北陸電力木村です。633 ページの色は全部赤色で示しているんですけど、600、
0:52:00	35 ページは、層理面ごとに色分けしているんで、
0:52:06	これ、同じような色分けで633、もし示すことは可能だと思いますので、そのように修正したいと思います
0:52:16	以上です。
0:52:18	はい。規制庁のカイダです。
0:52:19	そこの辺、お願いします。
0:52:24	それでちょっと633 ページの説明の方なんですけれども、
0:52:36	633、630、
0:52:40	635 ページか635 ページ。
0:52:45	のシュミットネットの方。
0:52:47	がわかりやすいか。
0:52:51	北面南面とも全体的に南傾斜が卓越してて、
0:52:56	いますと書いてあるんですけども、
0:53:00	ちょっとここ0、
0:53:03	例えば、
0:53:06	もともと何か、
0:53:11	斜面の方、左側の青系の方の、
0:53:16	グラフを見ると、
0:53:18	もともとあったのが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:20	10、
0:53:22	4 から 36。
0:53:35	確かにこうバーツとばらついて、何、比嘉南なのか東なのかぐらいのところにばらついてはいるんですけど、
0:53:44	よくよく見ると、この
0:53:48	緑系のやつですね 37 から 42 の地層、43 から 48 の地層っていうのが、
0:53:57	633 ページで言うと、
0:54:00	北面で、
0:54:02	見た目にも
0:54:04	山側の方に垂れ下がっているような分布していて、
0:54:08	やっぱりその染みっとネットを見ると緑系のやつは、
0:54:14	どっちかっていうと、
0:54:16	概ね東傾斜。
0:54:18	のようにも見えるんですね。
0:54:22	で、
0:54:24	そのあたりは、
0:54:26	どうなんすか。全体を見ると、ばらついてるっていうのは、そうかなと思うんですけども。
0:54:32	何か
0:54:34	あるそう見れば東傾斜っていうのは、
0:54:38	そうなので、そうであれば、
0:54:40	ちゃんと東傾斜の部分もあるけど、
0:54:44	上下の地層を見れば、
0:54:47	そうじゃないのもあってばらついてるとか、
0:54:50	全体としてこうプロットする、して、
0:54:53	お話もいいんですけども、
0:54:56	この地層ごとにこうやって分けて書いたんだったら、ここは東傾斜なんだけど、
0:55:01	他のやつはそうでもない。
0:55:03	とか、
0:55:04	そういった書き方をもうちょっと詳しく書いていただいた方がわかりやすいんですけども。
0:55:10	要は、山側に傾斜全体が傾斜してたら全部が、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:14	東傾斜になるけどある部分的なストーリーは東だけど、そうじゃないやつもあるっていう。
0:55:21	ことかなというふうに思うんですけどもそうであればそういうふうに、
0:55:25	ちゃんと書いていただきたいんですが、どうです
0:55:31	北陸電力木村です。
0:55:35	そうですね、633 ページちょっと色分けすれば、ちょっとわかりやすかったかと思うんですけども。
0:55:41	635 ページの黄緑色で示した、
0:55:46	37 から 42 の、
0:55:50	データですね。
0:55:51	37 から 42 の層理面を、
0:55:55	633 で見ますと、
0:55:58	確かに一部ここ、東傾斜この 1 枚面は東傾斜しているように、このスケッチ上からでも見て取れます。
0:56:08	なのでんですけども、トレンチ全体で見ると、
0:56:12	それ以外の層理面を見ると、
0:56:15	東傾斜を一様にしているわけではなくて、
0:56:19	全体としては、南傾斜という形。
0:56:23	が卓越するというふうに
0:56:26	見ております。
0:56:27	ですので、そういったことを、わかるように、635 ページの方に、
0:56:35	少し、そういった説明を詳しく、
0:56:38	記載したいなと思います。
0:56:40	以上です。
0:56:43	はい、規制庁のカイダです。
0:56:46	ではその点よろしくお願いします。一応ここは多分 37 から 42 とか、
0:56:51	48 ぐらいまでを見て、山賀経営者があるっていうふうに指摘されてた。
0:56:56	ところで、
0:56:57	それを見れば確かにそういう傾向もあるけども、何か他のも全部そうなるわけじゃないっていうんであればそういった説明を、
0:57:06	書き加えるとか、一応事実関係はちゃんと押さえた上で、
0:57:11	説明をしていただきたいので、
0:57:14	よろしくお願いします。
0:57:17	それとあと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:18	関連してですね、その 630、
0:57:23	5 ページの 2 ポツ目ですね。
0:57:27	あと 633 ページにも同じことが書いてあるんですけども、635 ページの 2 ポツ目で、
0:57:34	発電所建設前の旧地形図には、
0:57:39	トレンチの地形、周辺の地形は南側に行くと下に行くに従って
0:57:45	多くなる。
0:57:46	層理の傾斜は気つきを反映したものであると考えられるという。
0:57:50	これを、
0:57:52	629 ページにその説明があると思うんですけども、
0:57:57	それはどう。
0:57:58	どこの部分が南に行くとは低くなってるっていうのがちょっとこれ説明い ただきたいんですが。
0:58:12	北陸電力木村です。
0:58:14	地形、
0:58:16	がわかる図面が 629 ページに、
0:58:20	左の図になりますけども、
0:58:23	この
0:58:25	今見ているのが、赤色で示した No. 2 トレンチという時点で、
0:58:30	この周辺の地形を見ると、
0:58:33	No.1No.2No.3 と、トレンチ三つ並んでいるところ。
0:58:40	の、
0:58:42	ナンバー3 側の方が地形的に高くなっておりまして、ナンバー1 側の方 が地形的に低くなっていると。
0:58:50	で、
0:58:51	これ、ナンバー3 が北側でナンバー1 が南側になりますので、地形とし ては、
0:58:58	南傾斜。
0:58:59	していると、いうことが、
0:59:03	わかります。
0:59:05	そういったことを、
0:59:09	635 ページにこのような、ちょっと図がついていないので、
0:59:15	少しわかりづらかったと思いますので、
0:59:18	この 635 ページにちょっと、ちょっと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:23	あたりの説明がわかるように、
0:59:28	資料を加え、
0:59:31	るといふ形。
0:59:33	にしたいと思いますがいかがでしょうか。
0:59:36	はい。規制庁の甲斐です。図がそこについてないからっていう、
0:59:41	でもこれ別の、ちゃんと引用してあればいいと思うんですが、
0:59:47	今、2、629 ページでご説明いただいたのは
0:59:53	現在の、なんていうか、
0:59:55	地形面っていうか、この尾根みたいな尾根とかタニとか、
1:00:00	できたのは、
1:00:02	現在の地形で、もともとはこれ緑の部分っていうのが、
1:00:07	この南の部分の、
1:00:10	タニも挟んで、その隣の尾根も、
1:00:12	繋がってて、
1:00:15	南に傾斜していたってわけではなくて、改定の中で、海底面として、
1:00:21	平らだったっていう前提が、
1:00:24	あると思うんですね。今、浸食とか、後の侵食とかで今こいつ形にな ってる。
1:00:31	んであれば、
1:00:33	何て言いますか、今の地形がこうだから、
1:00:36	その
1:00:37	その中の下の方にある、その当時堆積した当時にある。
1:00:42	層理面までが、
1:00:43	何か、
1:00:45	南の方に傾斜してるっていう。
1:00:47	その辺の理屈がちょっとわかりづらいんですけども。
1:00:52	そのあたりは、
1:00:55	どうなんですかね。
1:00:56	例えば
1:01:00	基盤の高さを見れば、ちょっと南の方が低いからとかっていうんだっ たら、
1:01:05	何となくその辺も、
1:01:07	わかると思うんですけど、今の地形を持って、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:10	そこの中にある地層の傾斜がっていうのは、
1:01:14	ちょっと結びついてこないように感じたんですけどその辺の説明ちょっと。
1:01:18	もう一度、よろしいで
1:01:22	はい。北陸電力木村です。
1:01:26	今、629 ページは、緑色で塗った面が中位段丘1面でございまして、その南側に谷地形が、
1:01:38	あります。で、このタニタニが中位段丘、
1:01:45	削って、
1:01:47	できた地形なんですけども、このタニは、
1:01:50	さらに上の、高位段丘面の方から流れてきておりますので、このタニ自体は、
1:02:00	中位段丘が
1:02:02	できる。
1:02:03	というかM I S 5 e の波食台ができる以前から、ずっと前から、
1:02:10	あった。
1:02:11	ものと考えておりまして、
1:02:14	波食台が、
1:02:16	形成され、
1:02:18	された時期、
1:02:21	もう
1:02:23	される前にも、タニが、
1:02:26	この
1:02:27	場所に発達していてもともと、
1:02:31	こちらの、
1:02:35	地形は南側下がり、
1:02:37	N o。
1:02:39	斜面斜面というか、
1:02:43	少し低い、低い付けになっていたというふうに考えております。
1:02:49	なので波食台ができたときから、若干、
1:02:53	南側が、
1:02:54	買ったものというふうに推定されまして、
1:03:03	N o. 2 トレンチの岩盤上面と、N o. 3 トレンチの岩盤上面比較しても N o. 3 トレンチの方が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:12	もし、
1:03:13	高い。
1:03:14	岩盤上が高くなっておりますのでともとも波蝕台形成時から、
1:03:20	がん線も南下がりであったと。
1:03:25	そういう、そういった地形であったというふうに考えております。
1:03:29	はい。北陸電力の吉田です。少し補足させていただきます 696 ページ。
1:03:35	ちょっと開いていただけますかね。
1:03:37	今木村が申した話の少し絵がありますので、
1:03:41	これ北がちょっと逆方向になってますけれども、696 ページ。
1:03:47	ちょっと広目の段丘面分布図です。今ほどの下、話してるのはこの、
1:03:52	いちいち黒い横線の断面図の書いたところがちょうど今ほどの、
1:03:56	ところに No. 2 トレンチってありますよね。この今ほどのこの大南側の、韓国ですね、削り込み、これ見左、右ですね、東の方に持っていきますと、山の方に持ってきますとこういう段丘。
1:04:10	H b A 11 でさらにこの絵の東側ですね、山の方から河谷が進んでおりますので、この A - S 5 の M I S 5 e の中位段丘ができる前からですね、すでに、
1:04:23	確保されておっただろうという形があります。なので、資金、みずほの面が、この緑の中断きが目が見えた後に、
1:04:32	削れていればですね、確かにまっすぐなんですけど、このみずほの
1:04:37	緑ができる、できてる
1:04:40	としてですね、この勧告が始まっていた。
1:04:42	ということで、そのヶ国の位置が、このナンバー
1:04:47	今ほどの地形面の南側を下流していったもんですから、そういった影響で、この位置では、南側の方は河川のある南側の方に多少傾斜があるんではなかろうかというふうに、解釈評価しております以上です。
1:05:02	はい。
1:05:03	規制庁のカイダです。
1:05:05	今ほどの説明が少なくともこの 633 ページとか 63、635 ページからは、
1:05:13	なかなか読み取れなくてですね、今の地形が、
1:05:17	こうだからっていう、引用してる 629 ページっていうのが、
1:05:21	現在の地形を表しているの、
1:05:24	なかなかその辺が、
1:05:26	読み取れないわけなんです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:29	今の説明で、岩盤の裾線が、
1:05:33	もともとの波食棚ができたときからもう、
1:05:36	南下がりだったんだってという説明をされるのであれば、
1:05:41	その辺もちゃんと何か、
1:05:44	書いた上で、
1:05:46	説明していただきたい例えば 663 ページに、
1:05:50	すぐ北側の、
1:05:53	N o. 3 トレンチってというのがあって、
1:05:56	N o. 3 トレンチは多分岩盤線が 6、
1:06:01	20 メートルぐらい、標高 20 メートルぐらい。
1:06:05	660
1:06:08	三田。
1:06:15	600、663 ページ。
1:06:20	E L 20 ぐらいで、
1:06:24	さっきのナンバー 2 だと、確か時、
1:06:27	19 メートルぐらいで 1 メートル低ってその辺、
1:06:32	のデータも一緒に、
1:06:35	示されて説明されてるのであれば何となくわかるんですけども、
1:06:39	今の地形でこうだっただけだとちょっとわかりづらいので、ちゃんとその辺は、
1:06:45	先ほど口頭でおっしゃったようなことを、データを示した上で、
1:06:50	説明をしていただきたいんですが、よろしいです
1:06:57	はい。北陸電力の野原です。今ほどのご指摘わかりました。
1:07:01	例えば 653 ページに、岩盤上面の、
1:07:07	分布図、断裁図として示しておりますが、こういったものと、各トレンチの場所を示すなどしまして、
1:07:14	資料の方適正化を図っていきたいと思います。
1:07:18	以上です。
1:07:20	はい、わかりましたじゃカイダです。わかりました。よろしくお願ひします。
1:07:25	それと、
1:07:29	ちょっと今回通す。
1:07:31	前回から接
1:07:33	えっと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:35	提出いただいた。
1:07:37	データ集のほうでちょっと、
1:07:39	確認、ちょっと、
1:07:41	ないんですけども、
1:07:43	データ集って今、
1:07:46	画面で出せますかデータ集 1 柱状図っていうのがあるんですが、
1:08:25	10-20 の
1:08:28	4 ページ
1:08:31	お願いします。
1:08:43	ちょっと字がちっちゃいので、その
1:08:46	字が書かれてる辺りを、
1:08:49	拡大するなりしていただきたいんですけど。
1:08:55	上から次が書いてあるところの上から 2 段目なんですけど、
1:09:01	最大コア長は 16 センチで、
1:09:05	R Q D が 20、
1:09:08	いう。
1:09:09	関係が書いてあって、
1:09:12	最大高潮がある 16 で、R Q D が 20 っていうのはちょっと、
1:09:18	どういう状況なんかなっていうのが、
1:09:21	わからなくて、
1:09:26	R Q D。
1:09:28	と、最大校長ってこれ嵯峨。
1:09:31	少なくとも、
1:09:32	10 以上ないと。
1:09:34	変かなと思ったんですけど。
1:09:37	ここは何かちょっと、
1:09:40	状況が違うとかっていうのがあって
1:09:44	木場湖自体が、何か最終率が悪くても、
1:09:48	パーセンテージ自体が、
1:09:51	とか何か、
1:10:03	ちょっと事実関係として何か、
1:10:06	本来、
1:10:08	繋がってたんですけども、
1:10:11	人的に切断したんで、その

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:15	上下の、
1:10:17	谷津とつなげて考えると、
1:10:20	こういう値になるんだとか。
1:10:25	今すぐじゃなくてもいいんですが、
1:10:30	もし今わかれば教えていただきたいんですけど、RQDっていうんで10センチ以上のものを足していった。
1:10:35	場合なので、
1:10:37	10センチ、
1:10:39	4センチしか増えないっていうのはないんじゃないかなというのをちょっと。
1:10:43	ちょっと疑問があっただけです。
1:10:52	北陸電力1社です。すみませんちょっとこちらに関してすぐにはご回答できないので一度調査会社にも確認し、
1:11:00	いたしまして、
1:11:03	もし、
1:11:04	誤記であれば修正いたしますし、何か理由があるのであれば、
1:11:09	今回提出した補足資料にその旨追記し、説明を追記してご説明したいと思います。以上です。
1:11:16	はい。規制庁向です。そうですねちょっと細かい話なんでなかなか今すぐわかんないってことであれば、
1:11:23	また詳細に確認した上で
1:11:27	もし違ってるんであれば修正等をお願いし
1:11:44	規制庁認識ですけれども、
1:11:46	先ほどの話で600、
1:11:50	35かな。
1:11:51	のところにあったその層理層理のところの話。
1:11:55	麻生633がいいんですけども、
1:11:58	確認なんですけど層理面の、
1:12:01	の傾斜を図られているということ。
1:12:04	なんです。
1:12:06	けれども、これは、
1:12:07	よう裏面じゃなくて層理面ということで間違いはない。
1:12:18	はい、北陸電力の木村です。
1:12:20	これ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:22	べきの配列から成る層理面を計測しております。
1:12:27	以上です。
1:12:30	規制庁の井関です。べきが配列しているものの利益の面ではなくて砂。
1:12:38	その測ってるものそのものがどういう面で測ってるのかなとちょっと今一度確認したかったんでちょっと今の質問をさせていただいたんですが、
1:13:04	えっ。
1:13:05	ほくぎんの木村です。できが配列しているところの、基底面ですとかそういう道路を測っております。
1:13:17	規制庁認識ですかってことは増永宗とか新沼礫層が、例えば、上に載っていてそのまま力を
1:13:25	部品も来て、規定の
1:13:27	多少でこぼこしのところを
1:13:30	制度的に測ってみて、こういう分布替えられたという理解でよい。
1:13:37	はい、その通りです。
1:13:41	赤井。規制庁西木です。
1:13:43	どういうものを図っているかの
1:13:46	ことについては確認できました。
1:13:48	あともう1個、ちょっと戻ってもらっ。
1:13:53	この40、
1:13:55	私が追加。
1:13:56	ジェーソックスのところのやつ40何ページ
1:13:59	40ページぐらい。
1:14:01	ここのところで、
1:14:03	ちょっとだけ確認したいのか。
1:14:08	すいません。このデータの見方として、42ページのところで福良断層が震度深度観察と600ぐらいまで点線が引いてあるんですけども、
1:14:19	それより下に行かないっていうのはそもそもこの反射法地震探査の解像度がそこまでられてないのでここまでとしているのか、もうその
1:14:29	これ、この
1:14:31	図から読み取れないからっていうふうにしてるのかっていうあたりは、
1:14:35	違う。
1:14:39	北陸電力の小林です。
1:14:42	こちら42ページの福田断層の線ですね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:47	両方の意味はあるんですが、
1:14:52	一つは今ほど言われましたように、この断層自体が、一応、反射面の不連続パターンが、
1:15:00	1回途切れるところで少し途切れるところの近くに、反射面の傾斜が、継続的に変わってるところがあるというところを聞いておるんですが、それ自体が、
1:15:12	はっきりと断層としてわかるというのは少し不明瞭な部分があると。
1:15:16	その不明瞭な部分を引いていくと、やはり今おっしゃられた 600 辺りから下に見るとちょっとよくわからなくなっていくと。
1:15:26	ということで、ここで途切れさせていると、いうことがあります。
1:15:30	あと、やはり、
1:15:32	反射の反射面の、
1:15:35	解像度というか、
1:15:37	精度の問題から申しまして、ここ、
1:15:41	測線長、あと次発信間隔が 3 メートルと非常に細かい環境でやっておりますので、1000 メートル弱になっていくと少しその信用度というものが落ちていくということもございまして、
1:15:54	今のところで止めているということになります。
1:15:58	以上です。
1:16:00	規制庁西木です。この、
1:16:03	どのように線を引かれているのかの考えについては確認できました。
1:16:28	規制庁タニグチとさっきの西木さんの、
1:16:32	関連なんですけど、これーこういったさっき制度の話とか言われましたけど、これって結局、こういった探査では、北陸電力の考えとして、
1:16:43	この地表で断層が見つかるようなものじゃないと。
1:16:47	こういった探査では掴めないって思ってるのか。
1:16:51	福田断層というのが、地表にあったからこういうところに引ける。
1:16:57	つまり、何かこの中から、いや他にも断層あるかもしれないっていうような目では見れないって思ってるのか、それとも、こういうのである程度、
1:17:09	ここの 42 ページであれば福浦断層と S1 はは、
1:17:15	一応見えるんだけどその他にはなかなか、
1:17:18	断層す。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:20	ない、ないことを何ていうんすかね、強くサポートするような資料といえるのかその辺ちょっと扱いを確認させてください。
1:17:31	北陸電力の小林です。
1:17:34	まずやはりちょっと、
1:17:37	既出の部分で、こちら、つく 1000 メートル以上、安山岩が溜まっておりまして非常に岩相変化が激しいような、そうなっております、
1:17:47	なのでなかなか
1:17:49	通常の堆積岩値でやるような、各標準を決めていってそのずれを見て、断層を引いていくというところが、難しいというところがあります。
1:18:00	しかし地表で断層がリニアメントだったり、あとはボーリングの方で見つかっているところ、
1:18:07	クーラーであったり、SGTS 入力のところを見ていきますと、やはり、
1:18:11	あくまで不明瞭ではあるんですが、
1:18:14	地表に断層があるという前提で見ていくと、反射面の不連続があったりして、
1:18:19	そういうところは、不明瞭ではありますが、いけるのかなというふうに考えております。
1:18:24	ただ今他のところ、
1:18:27	見ていきますと、なかなかその、浅いところから深いところまで、
1:18:32	綺麗に高反射面のパターンが変わっていたりですとか、不連続があると、というような、
1:18:39	ちょっとメールのものはなかなか今引けないのかなというふうに考えております、
1:18:44	ただジュニア断層があるという前提で見ると、今引いてるようなところは、引けるのかなというような、そういった考えで、
1:18:53	解釈をして、
1:18:55	した結果になります。
1:18:56	以上です。
1:18:59	はい。規制庁谷です。
1:19:01	根井、聞き方をちょっと変えると、ここに、
1:19:06	何か不連続面がないからといって、福良断層がここ以外に例えば分岐しているものがないと、そこまでは言えないというような答えですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:20	北陸電力の小林です。
1:19:23	そうですね
1:19:26	一応その、
1:19:27	特に福浦断層、
1:19:28	組織しない断層との関係というところは、コメントもいただいております、
1:19:34	特に注目して見ておりましてその結果やはり、
1:19:39	佃断層、
1:19:40	そして引いてるところ以外ですと、
1:19:43	何ていうんすかね、分岐として引けるようなものは今ないというふうに考えております。
1:19:49	以上です。
1:19:50	北陸電力の野原です。ちょっと補足させていただきます。
1:19:54	今回の反射につきまして当然もともとわかっておりました福浦ですとか、S1、
1:19:59	これを改めて反射で確認できたというのは
1:20:01	重要な結果となっておりますが、今回の調査の目的としましては、福浦断層、
1:20:08	これもともと敷地近傍の福浦のところで、コメントいただいたことを、
1:20:12	契機に行った調査になりまして、
1:20:15	今わかっている福浦以外に、福田断層、
1:20:19	トレース、もう少し別のものがないかと、そういった目的でも行った調査となっております。
1:20:25	そういった意味から今回、福浦とS1以外に、
1:20:28	別の
1:20:29	袋の分岐でしたか。
1:20:31	そういった断層というのは見つからなかったと。
1:20:34	いうことは重要な情報となっております。
1:20:37	ですのでそういったことも今回資料にわかるように、そういった記載は追記させていただきたいなというふうに考えております。以上です。
1:20:49	はい規制庁タニです。
1:20:52	若干その説明が、
1:20:55	何て言うのかな。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:57	やっぱり見つけることができないような手法でやってるんじゃないんですよってというのがさ、フォローしてもらったようなことなんですけど、これ多分まだ1断面で見てもわかんないけれども、
1:21:09	複数あったらわかるのかもしれないし、或いはこの42ページを見て、福良断層の時こういう特徴が表れるんだけど、
1:21:20	それと同じようなものはないんだとか、何かそのじゃちゃんとかこの評価ってというのはやんなきゃ、今は敷地内だからやってないのかもしれないですけど、
1:21:30	やんなきゃいけないことだと思いますので、ちょっとその辺の、
1:21:33	精度がだ安山岩だから精度がちょっとよくなって、見えないところは見えなくなるんですけどっていうのはそれ確かにそうなんですけどどこまでだったら何か判断できるのかっていうのですね。
1:21:49	多分、今後整理していただく必要があるかなというふうに思います。
1:21:56	はい。北陸電力の野原です。
1:21:58	この反射の分解能の精度ですとかそういったことも含めまして、資料の方適正化図りたいと思います。以上です。
1:22:08	はい、お願いします。
1:22:10	藤。
1:22:14	補足資料の大深度ボーリングの地質境界のところの話なんですけれども、
1:22:21	11.3-2-2ですか。
1:22:25	これって結局本前回のヒアリングでもな、何となく
1:22:30	確認はしてるんですけども、この
1:22:33	結局ここで小さな破碎体でしたよっていう。というのが、
1:22:39	御社
1:22:43	何だ、何で引っ張り応力に起因した規模の小さな破碎部であるか。
1:22:48	ここのは、小さな破碎部っていうのは、例えば、
1:22:52	北陸電力の考えてる断層とかというのはどういう位置付けなのか要するに僕らとしてはこれが
1:23:02	震源として考慮する断層であったりそういったことに当たらないのかっていうのをですね、そこを何かはっきりと
1:23:11	して欲しいっていうところはあるんですけどねその判断とその根拠っていうのはですね、今のままだったら規模の小さな破碎部でありって言われてるだけでそれを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:22	それを企業規模の小さな破砕部だから、評価しなくていいのかどうなのかっていうこの先がなくてですね。
1:23:30	どう考えてるのかっていうのは、ちょっと界書いて欲しいし、今何かこう答え、答えれることはちょっと聞いておきたいなど。
1:23:40	思いますけどどうですか。
1:23:50	北陸電力石田です。
1:23:52	確かにこの書き方かなり抽象的な書き方とっておりますので、
1:23:58	今、説明としても書かせて書かさせていただきましたけれども、
1:24:02	断層に起因したものというよりは、どちらかという、何らかの院長力によって、ずれたというようなもので、反射を地震探査等を見ましても、
1:24:13	地表面に連続するとか、深部の方向に連続するというような、構造も見えませんが、こういったものに関しては震源として考慮しなくても良い断層と、我々、
1:24:23	考えておりますので、そういったものにつきましても明記したいと思います。
1:24:28	以上です。
1:24:32	入ったんです考えをはっきりして欲しい。これはだから断層でもないってことでいいんですか、断層では、断層。だけど規模が小さいんですかそれとも断層ではないっていう話なんですか。
1:24:45	はい。北陸電力の野原です。我々敷地内では、各ボーリングで破砕部につきまして、その連続性、
1:24:52	等確認しまして、連続性を有する破砕部、そういったものを断層としております。
1:24:57	そういった意味で、この今田石野通り等につけた破砕部といえますのは、
1:25:01	この点、1点目は破砕部として認識しましたが、
1:25:04	先ほどおっしゃいましたように反射とかVSP、そういったものでは対応するものが見られないと。
1:25:10	そういった意味では連続性を確認できないと。
1:25:14	連続性が見られないということから、破砕部としては、思っておりますが、これが断層かと言いますと断層ではないというふうに解釈をしております。
1:25:24	以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:27	はい規制庁タニ債お考えは確認できましたので、その辺は資料にわかるようにですねしていただきたいと思いますのでお願いします。私の方は以上です。
1:26:18	規制庁のカイダです。ちょっと
1:26:21	また
1:26:23	確認をさせてい。
1:26:24	いただきたいんですけど。
1:26:28	どこでもいいんですけど、
1:26:31	例えば 371 ページ。
1:26:39	の、371 ページの説明で、
1:26:43	三つ丸があって一番上なんですけど、
1:26:46	紫色の字のところを、
1:26:51	この、このくだりの部分はこの
1:26:53	この椅子なのこの、
1:26:55	サンプル以外のやつを、
1:26:57	全部こういうふうに言い換えましたっていうのが、確か。
1:27:01	前回、前々回ぐらいのヒアリングでお聞きした。
1:27:05	と思います。
1:27:08	ここ、粘土鉱物、
1:27:12	I S 混合層が最新面位置を横断して分布し、
1:27:16	最新面が不連続になっておりと書いてあって、
1:27:20	もともとここは多分、粘土鉱物が広く分布し最新面が不明瞭かつ不連続になっておりいてとかおり、
1:27:30	だったんですけど、
1:27:32	ちょっとすでにそこ説明いただいたと思うんですけど、なんでこう、
1:27:38	言い方を変えたんです
1:27:39	形っていうのは、もう一遍教えていただきたいんですが、特に、
1:27:43	データが増えたわけじゃないと思うんですけど、
1:27:48	はい、北陸電力スモリです。
1:27:50	こちらの言い換えは損、おっしゃる通りデータが増えたわけではなくてですね、
1:27:55	形状を最新面と、今鉱物脈、粘土鉱物イライトスメクタイト混合層と言ってますけども、これとの関係を

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:03	どのように我々として評価しているかというところがより、その考えがわかるような形で、記載を適正化したという位置付けになります。
1:28:11	これまでですと、広く分布し、最新が不明瞭かつ不連続になっていてというような書き方、こちらは、
1:28:18	最新面、学園で見える最新全体的な話。
1:28:23	をもってその全体に広く分布していて、
1:28:27	不連続でというところを書いてあったんですが、この不連続というところがやはりその、
1:28:31	評価の方でこの肝かなというふうに我々考えてまして。
1:28:35	不連続というところがどのように不連続なのという形状で、
1:28:38	どうなっているか不連続なのというところを、より詳しく記載する考えを書く必要があるというところで、
1:28:45	その不連続のところが横断するように分布すると、それによって不連続だとそこをはっきりわかるような形で記載を適正化したと、そういう趣旨になってございます。
1:28:53	以上です。
1:28:57	はい。
1:28:57	規制庁の甲斐です。
1:29:00	わかりました。
1:29:02	そうするとこの同じ場所が何ページか前に、
1:29:07	あって、
1:29:10	360
1:29:17	365 ページ
1:29:19	がもうちょっとこう広い範囲での、
1:29:21	薄片の写真があって、
1:29:25	で、
1:29:26	こっちだと、矢印を敷いて引いて、
1:29:30	不明瞭となるっていうふうに書いてある。
1:29:34	もともと最新面が不明瞭かつ不連続って言ったのを、
1:29:39	今回不連続っていうふうに
1:29:42	切り換えた。
1:29:43	けど、
1:29:45	写真ではまだ不明瞭となるというふうに書いてあるんですが、
1:29:50	これは何か使い分けをされてるんですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:56	クリーブ電力スモリです。
1:29:57	こちらですね今の書き換えの前からこのような記載となっております、
1:30:04	ちょっと今回すみませんこの不連続というところにあたりまして、正確に言うと書き直すべきところすみませんちょっと
1:30:11	できておりませんでこちら済ます適正化させていただきたいと思いません。
1:30:15	以上です。
1:30:17	はい。規制庁の甲斐です。多分これ同じようなのがあちこちにあると思いますので、
1:30:23	もし、書き換える必要があるのであれば
1:30:27	記載の方、適正化してください、お願いし
1:30:33	承知いたしました。
1:31:13	はい。
1:31:15	規制庁のカイダですが、
1:31:18	こちらからの確認は、以上の通りです。
1:31:23	で、こちらから今ほど確認した。
1:31:27	古藤とか、その他、
1:31:29	北陸電力の方から確認しておきたいこととか、
1:31:33	ありますでしょうか。
1:31:40	北陸電力藤田です。
1:31:41	ちょっと今の事実確認いただいたところにつきましては少し
1:31:45	削減のちょっと拡大とか、いろんな作業を早急にやって対応。
1:31:49	していきたいと思えます。それ以外につきましては事業者の方から、個別に確認したいというところはございませんので、
1:31:55	大丈夫です。
1:31:57	以上です。
1:31:59	はい。規制庁の甲斐です。
1:32:01	わかりましたじゃ
1:32:02	資料の方、とりあえずこちらからの確認事項というのは、伝わったということで、
1:32:09	今ほど今、資料の更新をされるっていう話だったんですけども、
1:32:16	ちょっとタイムスケジュール的にいかがですか、いつぐらいにとかってというのが、今わかる形で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:26	わかれば教えていただきたいんですけども。
1:32:30	北陸電力藤田です。今ほどの内容ですと既存のデータの整備っていう形になりますので、今週中には資料作りを得ることができると思っています。以上です。
1:32:42	はい。規制庁の甲斐です。わかりました今週中ですね。はい。
1:32:46	今回この敷地内のこの活動性評価の件については、
1:32:54	今回がヒアリング3回目ということですので、
1:32:59	次は、その日
1:33:02	修正していただいた資料。
1:33:05	をもって、
1:33:07	多分審査会合に
1:33:08	行くということになると思いますので、
1:33:11	その心づもりでこちらもやりたいと思いますので
1:33:17	資料の修正更新とは、
1:33:20	なるべく早めについていうことでお願いしたいと思い
1:33:26	で、他になければ、
1:33:29	今日はこれ以上としたいんですけども、
1:33:37	規制庁カイダです。
1:33:42	次回、もしかにはもう会合ということなんですが、
1:33:48	説明する時間っていうのは、これ、どのぐらいを、
1:33:52	見込んでおられますか。
1:33:57	北陸電力藤田です。
1:34:00	次回会合ということでありありがとうございます。説明の方はですね、50分程度でできるように考えたいと思ってんですが、
1:34:10	どうでしょうか。長いですか。
1:34:12	短いですか。
1:34:23	はい。大部にわたるSIMMER現地調査を踏まえて、追加調査等をされたということで、50分、
1:34:31	ぐらいでこちらも考えておきますので、
1:34:35	そういった形で準備をね、
1:34:40	はい、ありがとうございます。ポイント数絞ってわかりやすいような説明心がけたいと思いますのでよろしく願いいたします。
1:34:49	はい。では今日の
1:34:52	ヒアリングは以上としたいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:56	どうもお疲れ様でした。
1:34:59	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。